



×7回

## 4

## 交通法規指導

## 指導のねらい

自転車に関する交通法規を正しく身に付けさせる。

自転車には、車両として守らなければならない多くの決まりがあることを理解させる。

## ●活動例 学級活動、地域での活動

## ●指導計画のポイント

年間計画に従って、意図的・計画的に指導する。

## ●事前準備


交通法規の確認

## ●連携関係機関

警察署、市役所や教育委員会などから交通法規についての資料提供を受け、疑問点を解決する。

## ●指導の流れ

【具体的指導内容】（学級活動での使用例）

指導の流れ	留意点／ポイント
<b>教師</b> ①学習シートを配り、短時間指導を繰り返す。	
②ワークシート（テスト等）を使って理解度を確認する。 	自転車に乗るために必要な交通法規を理解させる。

## ワークシート① の回答

(回答) 問1	⑤法律違反	①歩行者	④自動車	③追い越し等	②2	
問2	②赤信号	④自動車	⑥状況把握	①片手	⑤不安定	③危険
問3	③悪く	⑤障害物	④発見	②明るい	①反射材	
問4	②ハンドル操作	③バランス	④危険	①迷惑行為		

## ワークシート② の回答

問1	②	問2	②	問3	①	問4	③	問5	②	問6	③
問7	②	問8	③	問9	①	問10	②	問11	①	問12	④

## ワークシート③ の指導ポイント

- A 傘さし運転は周囲の状況が分かりにくい。片手運転で不安定。
- B 並走は歩行者や自動車の走行の妨げになる。
- C 道路の無謀な横断は自動車の走行の妨げになる。
- D 道路の右側を走行すると対向車とぶつかる危険性がある。